

生徒用タブレット端末保護カバーの購入について

1. 購入品

令和2年度に整備した中学校生徒
1人1台端末の画面本体に装着す
る保護カバー（3,082個）



2. 事業概要

令和2年度に整備した中学校生徒1人1台タブレットにおいて、学校での活用が急速に進むにつれ、授業中や教室移動中の落下による故障が多く発生しています。

各学校には、タブレットの故障や転入生等に対応するために、各校10台程度の予備機を整備していますが、GIGAスクール構想により全国的に一斉に整備が行われた影響から、一部のタブレットにおいて修理期間が数か月間要しています。また、本年9月から開始した授業のオンライン配信用に予備機を活用していることから、十分な予備機台数を確保することが難しい状況です。

今後、家庭への持ち帰り及び校外学習での活用など、タブレットを校外に持ち出して利用する学習活動が広がると考えられます。そのため、十分な予備機を確保し、生徒が授業等でタブレットを使用できる環境を維持するため、保護カバーを購入するものです。

■参考（生徒用タブレットの故障状況）

（1）故障台数（令和3年4月から10月末まで）

計132台

（2）故障原因

教室移動中・授業中の落下等が故障原因の約7割を占める。

（3）落下時の状況

【授業時】教科書、ノート、タブレットを机の上に置いてノートに書きこんでいるときに、肘でタブレットを机前方に押し出してしまう。

【教室移動時】タブレットを教科書等の上に置いて持ち歩いているときに滑り落としてしまったり、転倒した際に落としてしまったりする。